

Team SPOON

2017年度（2017年10月1日-2018年9月30日）
事業報告(p.3~16)



■ 会員更新方法

① 事務局メンバーへの手渡し

事務局メンバーに会った際、会員更新の旨を伝え、会費をお渡しください。SPOON事務局メンバーは普段東工大土肥研究室にいますので、研究室に遊びに来がてらSPOON会員の更新をしていただけると嬉しいです。

② 銀行振り込み

以下の口座への振り込みをお願い致します。

【口座名】チーム スプーン

【金融機関名】ゆうちょ銀行

【店名】〇一八(読み ゼロイチハチ)

【店番】018

【預金種目】普通預金

【口座番号】3 5 7 5 2 9 0

ご寄付も受け付けております！



目次

2017年度事業報告

2017年度のVisionとGoal	．．．	P.3
2017年度の活動	．．．	P.4
2017年度の事業とその成果①	．．．	P.5
2017年度の事業とその成果②	．．．	P.6
2017年度の事業とその成果③	．．．	P.7
2017年度の事業とその課題①	．．．	P.8
2017年度の事業の変更点	．．．	P.9
2017年度 事業収支	．．．	P.10
資料1. 日報について	．．．	P.14
資料2. 2017年度の作成物	．．．	P.15
代表からのあいさつ	．．．	P.16



2017年度のVisionとGoal

前年度の振り返りから、新たなVision、Mission、Goalを制定した。

Vision

自然のつながり、社会のつながり、過去・現在・未来
という時間のつながりの中のことを一人ひとりが認識し、
そういった人々がつながって、
主体的に行動する社会



子どもと大人、そのまた子どもも 同いように干潟に立って
貝や鳥などの生き物を 言葉かとも話したり、喜んだり
するかもしれない。

足元の生き物を考えたりして、
7000年の言葉として、
歴史の話として、平和の話をした

同じものを見、
感じる

貝殻や
地元の団体の
ヨコソ

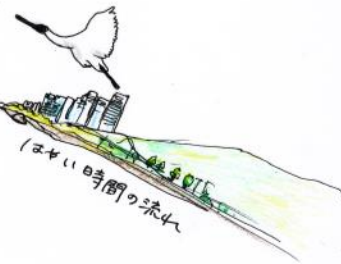
干潟の生き物を使い
いざや受け継がれる知恵

太陽に照らされて温まった
海水
シロがうにうにする

鹿島の干潟に咲いている

ふにふに柔かな貝

生きものの死がいに
みらがる貝





2017年度のVisionとGoal

Mission

上記のVisionを実現させるために、

- ①クロツラヘラサギと友達になり、彼らが生きる環境及びそこに連綿と続く人々の暮らしを知るきっかけを提供する
- ②クロツラヘラサギをきっかけにしてSPOON会員同士をつなげる
- ③自分が過去から受け渡された環境を未来の世代にどう引き継いでいくか、一人ひとりが考え行動する場を提供する

Goal

- Goal 1 : 野生生物と友達になる(クロツラの足環・指輪)
- Goal 2 : 一人一人が自然のリズムと密接につながりながら自然を内に取り込んで生きる
- Goal 3 : 身近な自然に気づく
- Goal 4 : 自然を通して人々がつながる
- Goal 5 : 身近な人々との関係に気がきづく
- Goal 6 : 一人一人が社会のリズムについて考える
- Goal 7 : 全体で考える



2017年度の活動

2017年度は新たにVisionを考え直し、オフ会や日報を通して国境を超えた交流と文化の共有・交換ができた大きな年となった。

4-1. 生物文化多様性シンポジウムへの参加

2017年10月15日・18日に行われた生物多様性のシンポジウムのユース部門でSPOONの活動を発表しました。2カ国9名の方が会員になってくれた。

(計画外)BFSN 季刊誌への掲載

3月の台湾訪問を受け、BFSNが毎シーズン発行している季刊誌にて、SPOONの台湾訪問についての記事を掲載して頂いた。

4-2. アジア湿地シンポジウムへの参加

2017年11月7日～11日に佐賀で行われたアジア湿地シンポジウム(25カ国400名の方が来場)の、国際協力の部門でSPOONの活動を発表した。2カ国7名の方が名が会員になってくれた。

(計画外)台湾訪問

3月22-25日に台湾のJilading 湿地や BFSN 本部を訪問し、活動の紹介を行った。新たに3名の方が会員になってくれた。

3-2. 東京近郊ツアー

4月6日に千葉県のみなばし三番瀬海浜公園、東京都の葛西臨海公園で干潟体験と野鳥観察を行うツアーを行い、16人の会員が参加した。

5-1. 5羽の物語絵本づくり

5羽の物語を絵本にまとめる予定であったが、行わなかった。

2017/10

11

12

2018/1

2

3

4

5

6

7

8

9

1-1 指輪作成

700個作成した。

2-4. 海外からの日報配信

2名の留学中のメンバーに2通、アメリカ、韓国、中国のSPOON会員の方に日報をかいもらった。

2-3. フライウェイの自然と文化についての特集日報

合計3回の特集を組み、計33名の会員に合計41通の地域の自然と文化について日報で伝えてもらった。特集の内容は第1回「東アジア各地からのお正月の風景」、第2回「子どもの頃の遊びと自然」、第3回「台湾特集」で配信した。

3-1. オフ会

4月6日にオフ会を開催した。16名の会員が参加してくれ、会員同士の交流の場を始めて創ることができた。

3-3. 韓国ツアー

東京近郊ツアーとオフ会に注力することにしたため、行わなかった。

(計画外)バードフェスティバル

5月4-5日に葛西臨海公園で行われた「春のバードウォッチングフェスティバル〜シギ・チドリ祭り〜」に参加し、展示を行った。17名の方が新たに会員になってくれた。

6-1. アクト・ビヨンド・トラスト助成への応募

韓国ツアーを東京近郊ツアーに置き換えたため、応募しなかった。

2-1 日報(週報)配信

日報・週報期間ともに週に1度以上は英語と韓国語の日報を配信することができた。今年度配信した日報は、2018/9/30現在合計で240通、日本語240通、韓国語45通、英語51通である。

2-2. 「教えて〇〇さん」日報

生きものや自然に詳しい会員の方2名に日報を書いてもらい、合計で5通配信することができた。日報執筆者に対する質問を会員から募集したところ、計12名から14つの質問が集まった。



2017年度の事業とその成果①

2017年度の事業とその成果は以下の通りである。2017年度の事業は順調に展開することができた。会員数が500人に達しなかったことが大きな課題である。

事業名	事業項目	事業報告	ゴール
1. 指輪事業	1-1 指輪作成	700個作成した。	①
2. 日報事業	2-1 日報（週報）配信	日本にクロツラヘラサギがいる期間は毎日、それ以外の期間は週に1度日報を配信することができた。また、日報・週報期間ともに週に1度以上は英語と韓国語の日報を配信することができた。今年度配信した日報は、2018/9/30現在合計で240通、日本語240通、韓国語45通、英語51通である。	①～⑥
	2-2 「教えて！○○さん」日報	生きものや自然に詳しい会員の方2名に日報を書いてもらい、合計で5通配信することができた。日報執筆者に対する質問を会員から募集したところ、計12名から14つの質問が集まった。日報を執筆した会員に質問に答えてもらうことで、会員同士の交流を図ることができた。	①～⑥
	2-3 フライウェイの自然と文化についての特集日報	合計3回の特集を組み、計33名の会員に合計41通の地域の自然と文化について日報で伝えてもらった。特集の内容は第1回「東アジア各地からのお正月の風景」、第2回「子どもの頃の遊びと自然」、第3回「台湾特集」で配信した。	①～⑥
	2-4 海外からの日報	2名の留学中のメンバーに2通の日報を書いてもらった。 SAVE InternationalのMarcia McNally氏に1通の日報を書いてもらった。 クロツラヘラサギの渡りの時期にあたる2018年5月中旬ごろに韓国のメンバーに日報を書いてもらう（5通/年）という計画を立てたが達成することができていない。	①、④
3. 会員交流事業	3-2 オフ会	4月6日にオフ会を開催した。16名の会員が参加してくれ、会員同士の交流の場を始めて創ることができた。また、オフ会の様子について、当日の日報で伝えたほか、6名の会員にオフ会についての日報を書いてもらい、配信することができた。会員による日報はホームページでも公開している。	①～⑦
	3-3 東京近郊ツアー	4月6日に千葉県の大田原三番瀬海浜公園、東京都の葛西臨海公園で干潟体験と野鳥観察を行うツアーを行い、16名の会員が参加した。ツアーの様子については当日の日報で伝えたほか、6名の会員にツアーについての日報を書いてもらい、配信することができた会員による日報はホームページでも公開している。 また、ツアーを行ったことをきっかけに、5月5日、6日の葛西臨海公園でのイベントに参加することができた。	①～⑦
	3-4 韓国ツアー	今年度は、メンバーの都合で行うことができなかった。昨年、韓国訪問の際に現地で交流した方々とは、Facebook上で連絡をとり合い、関係を維持している。	①～⑦
	3-5 会員による観測情報交換	会員にクロツラヘラサギの観測情報をFacebookに投稿してもらうことで、クロツラヘラサギの渡りを感じてもらったり、クロツラヘラサギがいない地域の人にもクロツラヘラサギを身近に感じてもらうということを計画したが、こうした体制は整えられていない。ただ、8名の方から14通の投稿があった。また、5月26日、8月6日に会員より葛西臨海公園でのクロツラヘラサギ観測情報が入り、それを号外日報という形で伝えることができた。このように、自然発生的に会員による観測情報の交換は行われている。	①、③、④、⑤



2017年度の事業とその成果②

事業計画の段階では計画していなかったが行なったこととして、台湾訪問、BFSNなど季刊誌への掲載など挙げられる。

4. イベント参加	4-1 生物文化多様性シンポジウムへの参加	2017年10月15日・18日に行われた生物多様性のシンポジウムのユース部門でSPOONの活動を発表した。2カ国9名の方が会員になってくれた。	⑦
	4-2 アジア湿地シンポジウムへの参加	2017年11月7日～11日に佐賀で行われたアジア湿地シンポジウム(25カ国400名の方が来場)の、国際協力の部門でSPOONの活動を発表した。2カ国7名の方が名が会員になってくれた。	⑦
5. 絵本事業	5-1 5羽の物語絵本づくり	2016年度の韓国訪問で頂いた書籍等を参考にSPOONで応援している5羽の物語を絵本にまとめる予定であったが、現在のところ実行できていない。	②
6. 助成金獲得事業	6-1 アクト・ビヨンド・トラスト助成金への応募	韓国でのツアーを行わない事を4月の会議で決定した為、アクトビヨンドトラストのメンターの方と相談し応募をしなかった。	④
7. 広報事業	7-1 ホームページ多言語化	現在日本語表記のみのホームページを英語、韓国語に翻訳して公開する計画であったが、翻訳スタッフ不足で行えてなかった。時期をみて、翻訳スタッフ募集後に実施する。	④
	7-2 日報1か月限定公開	新たな会員を獲得するために、1か月限定でFacebookで日報を公開する計画であったが、行えていない。	③、④
8. 事務・管理事業	8-1 会員獲得	会員500名を目標としていたが、10月に積極的に募集をすることをやめ内部のつながりを強くする事業を積極的に行い、会員獲得を積極的に行わなかった。現在、SPOON会員数は357名である。	
	8-2 会員管理	SPOON会員の個人情報や指輪番号の確認と情報を更新し作成した。個人情報の管理など作業は滞りなくできた。	
	8-3 会費管理	SPOON会員から預かった会費の管理や更新手続きなど金銭的な管理を行った。会費の未納が大きな問題となったが、金銭的な管理は滞りなくできた。	
	8-4 物品管理	指輪やTシャツなどのグッズ管理などを行った。	
	8-5 事務局メンバー獲得	事務局のメンバーを獲得し、持続的な運営体制を築く。	
	8-6 事業進捗の確認	各事業の事業項目ごとの進捗状況を確認し事業を進めた。会議で事業状況をメンバー税インで共有し、イベント参加を見送る事はあったものの多くの事業は達成できた。	
事業計画では予定していなかったが行なったこと	葛西臨海公園でのバードフェスティバルへの参加	5月5日～6日に東京都の葛西臨海公園で行われた「春のバードウォッチングフェスティバル～シギ・チドリ祭り～」に参加し、SPOONの活動の展示を行った。SPOON会員16名がイベントに参加してくれ、会員同士の交流の場とすることもできた。このイベントを通して、17名の方が新たに会員になってくれた。	①～④
	SAVE Internationalとの会議	クロツラヘラサギの生息地保全および生息地域のランドスケープデザインを行っている国際NGOである、SAVE International のRandyさん、Marciaさんが来日し、4月5日にSPOONとの会議を行った。SPOONのこれまでの活動を説明し、今後の活動に対するアドバイスを頂いた。	②～⑦
	台湾訪問	3月22日～25日に台湾を訪問し、Jiading湿地、BFSN本部を訪問した。台湾では、新たに3名の台湾の方が会員になってくれた。	①～④
	BFSN季刊紙への掲載	6月10日に発行のBFSNの機関紙に台湾訪問についての記事を掲載して頂いた。	②～⑦



2017年度の事業とその成果①

成果① オフ会を通じた国を越えた交流の具体化

2018年4月6日に行ったオフ会には、日本だけでなく、韓国、深圳の会員も参加してくれ、会員同士が実際に互いに知り合う機会をつくることができた。また、フライウェイに広がる国を越えた人々のつながりを共有することができた。大きな東アジアの地図を見ながら、クロツラのフライウェイの上に会員が増え、人の輪が広がっていくという未来を一緒に語り合うことができた。

これらは、ミッション②「クロツラヘラサギをきっかけにしてSPOON会員同士をつなげる」、③「自分が過去から受け渡された環境を未来の世代にどう引き継いでいくか、一人ひとりが考え行動する場を提供する」と深く関係するものであり、Vision達成に向けた今年度の大きな成果となった。

成果② 日報を通して東アジア各地の文化を共有・交換することができたこと

2018年1月1日-14日まで行ったお正月の日報特集では、東アジアの各地の14名の会員から東アジア各地のお正月の風景を伝える日報を送ってもらった。日報を通して、クロツラヘラサギのフライウェイにある文化を共有することができ、自然のつながりだけでなく、文化のつながりを知るきっかけとなった。これは、ミッション①「クロツラヘラサギと友達になり、彼らが生きる環境及びそこに連綿と続く人々の暮らしを知るきっかけを提供する」に深く関係し、Vision達成への一歩となった。



2017年度の事業とその課題①

課題① 目標会員数の未達成

現状：今年度中に会員数を500人まで伸ばすことを目標にしていたが、300人に留まった。

要因：基本的に、会員になってくれそうな方々に会いに行き、そこでSPOONの活動を説明して会員になってもらうという方式で会員獲得を進めていたため、一度にたくさんの新規会員を獲得することが難しかった。また、説明を聞いて頂いた全ての方に会員になってもらうことはできなかった。

課題② 低い会員更新率

現状：昨年度から今年度にかけての会員更新率が低かった(20%)。複数回にわたってメールで会員更新のお願いを行い、更新して下さる会員が増えたものの、依然として低い更新率にとどまった。

要因：会費1,000円の振込が手間、SPOON年度への理解の不足、会員がSPOONの具体的な活動に参加できる機会が少なく、更新手続きに対する認識不足



2017年度の事業の変更点

変更点① 韓国ツアー

現状：韓国ツアーを行わずに、湿地ツアー及びオフ会に注力した。

要因：現会員の交流を促す方が優先順位が高いと判断し、海外である韓国のツアーではなく、国内の東京湾湿地ツアーとオフ会を注力して行うことで、会員同士の交流を促すことに変更した。

変更点② アクト・ビヨンド・トラスト助成金への応募

現状：アクト・ビヨンド・トラストのメンターの方への相談の結果、今年度の応募を取りやめた。

要因：韓国ツアーを行わないことにしたため、応募を取りやめた。



2017年度 事業収支①

収入

項目	事業項目	事業名	No.	内訳	金額
収入	事務・管理事業	会員獲得	1	会費	166,000
		物品管理	2	Tシャツ売上	3,000
	会費交流事業	オフ会	3	オフ会参加費	15,000
		東京近郊ツアー	4	ツアー参加費	48,500
	イベント参加	アジア湿地シンポジウムへの参加	5	ABT繰越（昨年度の助成金残額）	163,676
			6	寄付(個人実費負担)	103,288
		生物多様性シンポジウムへの参加	7	主催者からの旅費補助	66,480
			8	寄付(個人実費負担額)	35,370
		台湾訪問	9	寄付（個人実費負担額）	253,866
	その他		10	受取利子	1
			11	寄付	1,678
			12	収入合計	856,859

- ・ 2017年度会費収入のうち、17,000円は次年度以降分の会費である。
- ・ 以下の三つのイベント参加・訪問事業にかかる費用について、個人の寄付(実費負担分)を寄付として収入に組み込んだ。

アジア湿地シンポジウム

：昨年度のABT助成金の残額で足りない分を個人の实費負担とした。

生物多様性シンポジウム

：主催者からの旅費補助で足りない分を個人の实費負担とした。

台湾訪問

：全額を個人の实費負担とした。



2017年度 事業収支②

支出①

項目	事業項目	事業名	No.	内訳	金額
支出	指輪事業	指輪作成	13	指輪作成費	109,620
			14	小計	109,620
	会員交流事業	オフ会	15	オフ会用事務用品	3,348
			16	オフ会食事代	16,794
			17	小計	20,142
		東京近郊ツアー	18	移動費(下見・当日)	66,006
			19	保険代	6,832
			20	雑費(ツアー用事務用品、食事代など)	20,322
			23	小計	93,160
	イベント参加	アジア湿地シンポジウムへの参加	24	航空券代	101,760
			25	現地移動費	15,730
			26	宿泊費	39,005
			27	シンポジウム参加費	94,000
			28	雑費(食事代など)	16,469
			29	小計	266,964
		生物多様性シンポジウムへの参加	30	宿泊費	86,550
			31	交通費	15,300
			32	小計	101,850
		台湾訪問	33	交通費	178,644
			35	宿泊費	52,920
			36	雑費	22,302
			37	小計	253,866



2017年度 事業収支③

支出②

項目	事業項目	事業名	No.	内訳	金額
	広報事業		38	パンフレット印刷代	27,400
			39	小計	27,400
	その他		40	振込み手数料	1,296
			41	通信費・会議費	570
			43	小計	1,866
			44	支出合計	874,868

事業収支

今年度収入		12	収入合計	856,859
今年度支出		44	支出合計	874,868
事業収支		45	収入-支出	-18,009
前期繰越		46	前期繰越金	338,824
翌期繰越		47	翌期繰越	320,815



資料1. 日報について

通常の日報・週報(日本語)に加え、今年度は特集を6回組み、週報(英語版)は毎週配信することができた。また週報(韓国版)は、翻訳者を確保できなかった5回を除いてほぼ毎週配信できた。

2017
10/022018
5/202018
9/30

日報(日本語)

週報(日本語)

週報(英語)

週報(韓国語)

今年度合計

240通

全合計

785 通

年度	種類	配信数(通)	配信期間
今年度	日報(日本語)	220	2017/10/02-2018/05/18
	週報(日本語)	20	2018/05/20-2018/09/30
	週報(英語)	51	2018/05/20-2018/09/31
	週報(韓国語)	46	2018/05/20-2018/09/32
	合計	240	2017/10/02-2018/09/30
昨年度 まで (2015- 2017年度)	日報(日本語)	446	2015/09/06-2017/05/03
	週報(日本語)	43	2016/05/23-2017/09/23
	週報(英語)	44	2016/01/10-2017/09/23
	週報(韓国語)	12	2017/07/12-2017/09/23
	合計	545	2015/09/06-2017/09/23

全配信数

785(通)



資料2. 2017年度の作成物

日報冊子

会員の広がりWS

ツアーのノウハウ（マニュアル）

発表パワポ

-金沢

-アジア湿地シンポジウム

-台湾

-授業

動画（SDGsアワード用）



代表からの報告とあいさつ

SPOON会員みなさま

こんにちは。所谷です。SPOONは2015年1月の発足から日本各地、韓国、台湾とさまざまな場所を訪問し、みなさまに出会ってきました。私は発足当初から活動に携わり、たくさんの方に出会い、交流してきました。そして、そのことによってSPOONの活動が広がってきたことを実感しています。3年間でこんなにもたくさんの仲間ができ、国を越えてその輪が広がったことをとても嬉しく思っています。

これまでたくさんの活動をしてきましたが、昨年12月に私の妊娠がわかり、これまでと同じペースで活動することが難しくなりました。妊娠がわかった当初は、これまでのように活動できないことに対して不安がありました。しかし、どんどん活動量を増やして加速していくのではなく、たとえ結果的にペースダウンすることになっても、個人の人生やライフイベントを受け止めて活動を続けていこうと事務局内で話し合いました。活動を続けていくことが大事で、また時が来たら今まで出会ってきたみなさまと一緒に飛躍すれば良い、今はそれまで力をたくわえようと私も思うことができました。個人の人生やライフイベントを受け止めて活動を続けていくことは、SPOONという活動体としての成長にもつながるのではないかと考えています。

8月には無事に子どもが生まれました。これから私の娘もこの活動の仲間に加えていただければと思います。まだしばらくの間は大きな活動はできないかもしれませんが、コツコツと活動し続けていきますので、これからも一緒に歩んでいただければ嬉しいです。またお会いできるのを楽しみにしています。

SPOON事務局代表 所谷茜